

米原消防署の救急車が新しくなりました 🚑 ✨

令和5年12月米原消防署の救急車を更新しました。

更新した車両は高規格救急自動車で救急隊が医師の指示のもと傷病者に対して必要な救命処置が行える資機材を積載しています。



救急車は、4WD で積雪時など湖北地域特有の悪路に対応できる車両です。

主に積載している救急資機材は、患者監視装置、人工呼吸器、除細動器などで、あらゆる事案に対応できる救急車となっています。





車両側面及び後方には高い反射性能を有する**反射テープ**を使用しています。

屋根部分の赤色灯には、発光パターンが交差点通過等の活動状況に応じて3パターンに変化する「**アクティビーターコン**」を湖北地域消防本部では初めて採用しました。



アクティビーターコンとは活動状況に応じて赤色灯の発光パターンが3つのモードに変化するということです。

- ① **ノーマルモード**：通常の赤色灯の発光。
- ② **ハイパーモード**：交差点進入時などに内部のLEDを大きく円を描くように強力に発光させることで視認性を向上させます。
- ③ **ソフトモード**：発光灯数を少なくし、ゆっくりとした優しい光り方で夜間の住宅地での活動時などに配慮しています。

※米原救急車のサイレンアンプは「**コンフォートモード**」と呼ばれるものを搭載しており、通常のサイレン音を軸に和音等が重ねられており、耳ざわりがソフトで、音量を下げずに不快感が低減されているのが特徴です。